かわら版 第三号

大津の四季から新庁舎のにぎわいを考えよう

3 四季の庁舎の過ごし方を考える

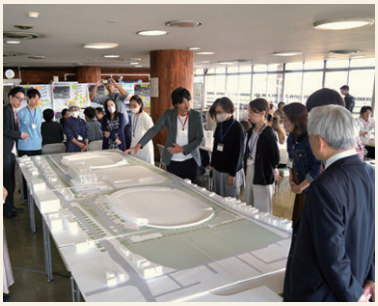
2026
10/17(土)
10:00~12:00
参加者数 /28 名
会場 / 大津市役所 本館 5 階

大津市役所にて、第 3 回の大津市新庁舎整備基本設計市民ワークショップを開催しました。
第 3 回では参加された市民の皆さんに新庁舎の図面や模型をみていただきました。そこから広域や詳細のそれぞれの視点で具体的に空間イメージをふくらませてもらい、その思いを文字やスケッチで表現していただきました。
また、機能や設備だけではなく、にぎわいのプログラム（その場所でどう過ごすか / そのために必要な環境条件等）をイメージし、話し合いました。

ワーク内容

①第 2 回ワークショップのふりかえり
②新庁舎計画概要の説明
③空間イメージカードにアイデアを書き込む（広域 / 詳細）
④広域模型 (1/200) 見学
⑤グループ内で③を共有し、まとめる
⑥発表


第 2 回ワークショップのふりかえり


広域模型をグループで見学


空間イメージカードを書き込む


グループ内での共有


グループごとに発表

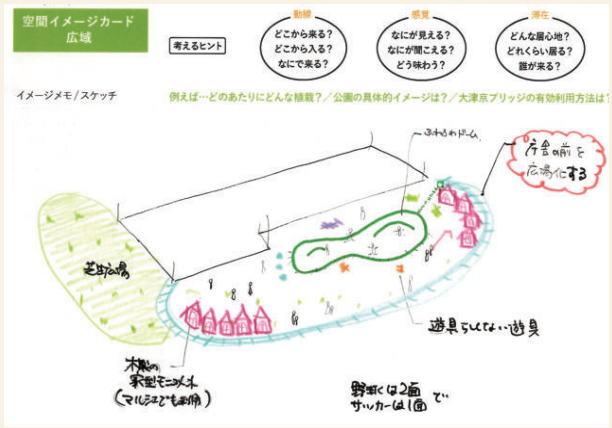
ワークショップ結果



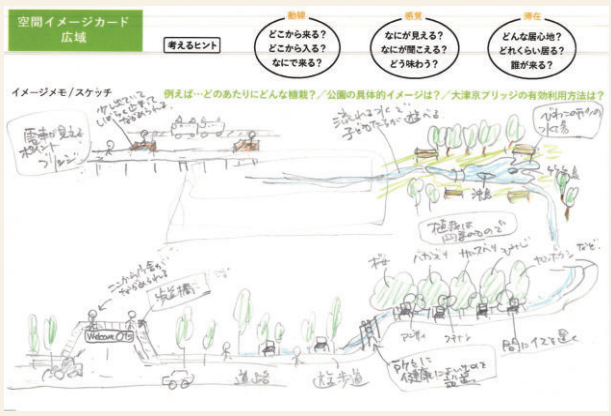
広域 / 39 個
詳細 / 35 個
合計 74 個

広域…新庁舎へのアプローチや植栽、イベント時の屋内外の接続や、ひろばの計画など ▶

詳細…具体的な居室や設備のアイデア ▼





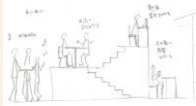


ワークショップ分析

空間イメージカードをカテゴリごとに分類して、分析を行いました。

交流　集まる 交流する

広域 / 1
詳細 / 9
合計 10



いろんな過ごし方ができる庁舎

様々な人が集まり、それぞれが自由に過ごしやすい空間やイベントが求められた。市民だけでなく、市内外のつながりを生み出す交流拠点としての期待が高いことがわかった。

学び　知る 学ぶ

広域 / 0
詳細 / 8
合計 8

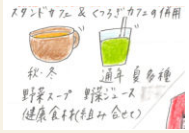


共に学べるティーチングスペース

読書や自習ができるスペースを求める声が多い。また、ワークショップや仕事体験、観光関係など、「知る」ための機能を庁舎内に設置する声が挙がった。

食　食べる 休む

広域 / 0
詳細 / 7
合計 7



スタンドカフェ & くつろぎカフェの併用

大津の名物を食べられるところと、飲食をしながらゆっくりくつろげるスペースを求める声が多かった。公園でのスポーツやイベントに来る人にも活用されるイメージが共有された。

防災　もしもに備える

広域 / 4
詳細 / 1
合計 5



広場での防災訓練

普段は気持ちよく使える広場に、防災ベンチやトイレなど、災害時に活躍するものを設置する希望が複数みられた。ブリッジを使ったバケツリレーイベントなど、普段から防災を意識づける取り組みが求められた。

遊び　遊ぶ 子育てする

広域 / 5
詳細 / 2
合計 7

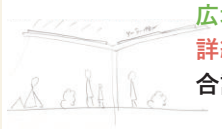


多様な人が集う芝生の広場

庁舎内での手続きも公園での遊びも、子供とその親に優しい環境が求められた。新庁舎前の広場で水を使って安全に遊べる広場を望む声が多かった。

移動　移動を豊かに

広域 / 5
詳細 / 1
合計 6



アプローチを快適に

庁舎内、ブリッジ、駐車場からのアプローチなど、移動の利便性が求められる中、自然やアートなどによって移動が豊かになるような工夫やアイデアが複数みられた。

表現　発表する 表現する

広域 / 2
詳細 / 2
合計 4

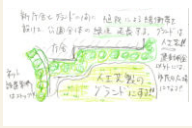


発表をしたくなる壁

庁舎と公園がお披露目の場になることに期待する意見が複数あった。ダンスなどデイリーなものから、お祭りやイルミネーションなどイヤリーなものまで幅広くアイデアがでた。

公園　公園とつながる

広域 /19
詳細 / 3
合計 22

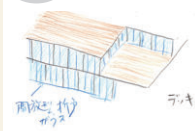


緑をつなげる植栽計画

公園の中の具体的な植栽や機能のアイデア、散歩などの利用シーン、公園内でのイベントやキッチンカーなど、庁舎と一体的ににぎわう公園づくりに期待する声が多かった。

眺望　眺める

広域 / 3
詳細 / 2
合計 5

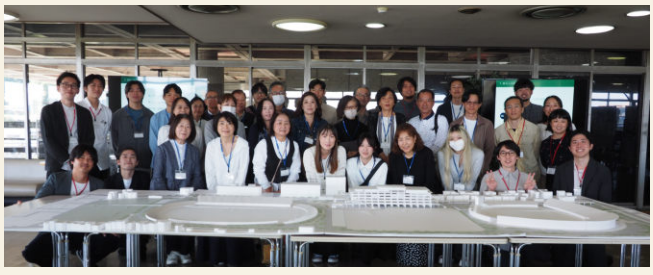


屋内外がつながるガラスの外壁

展望デッキから自然や公園のにぎわいを眺めるアイデアが以前から出ているが、公園側から庁舎を眺める視点が挙がった。透明感のある外観で、公園と一体的な庁舎が望まれた。

全体のまとめ

第２回ワークショップでたくさんの意見が出されましたが、今回はそのイメージをより具体的にするため、周辺を含んだ広域の大きな模型を囲んで想像を膨らませながら「空間イメージカード」に絵を描いていただきました。設計は、空間を考えるだけでなく、それを伝えることも大きな仕事のひとつです。参加者には設計の仕事の一端を体験いただき、市民が望む空間をより具体的に設計者に伝えるためのワークを行いました。新庁舎は公園と一体的に建てられることに注目し、庁舎内だけでなく公園の整備や庁舎までの道のりなどについても考えました。次回はここで過ごす時間や市民の関わりについて考えたいと思います。



最終回！いよいよ

11/21(土)
10:00~12:00

4

年中使いたい庁舎を考える

第３回のアイデアを元に、設計チームが新庁舎の設計案を用意し、お披露目をします。四季折々、年中にぎわう庁舎になるよう、機能や設備は考えられますが、実際に使用する人がいないとただの箱になってしまいます。ワークショップのまとめとして、市民交流スペースの運用についてディスカッションを行います。

